

2012年ランキング

順位	社名	PV関連売上高 (百万円)
1	ウエストホールディングス	22,817
2	高島	20,508
3	グリーンテック	14,690
4	日本エコシステム	12,000
5	山善	9,000
6	新興マタイ	6,980
7	FRESH UP	6,844
8	エステート24ホールディングス	6,570
9	サニックス	6,442
10	エージー・ジャパン	4,805

上位10位合計
110,656

過去データで見えてくる PV販売勢力図は どう塗り替えられたのか?

ウエスト、高島など上位ところは3年間変わらないが、2012年に比べ売上高自体大きく伸びており、100億円突破が続出している。

2013年ランキング

順位	社名	PV関連売上高 (百万円)	対前年比伸び率(%)	前年順位
1	ウエストホールディングス	51,328	↑125.0	1
2	芝浦グループホールディングス	28,500	↑1290.2	23
3	エクソル	27,659	-	-
4	高島	23,000	↑12.2	2
5	サニックス	19,014	↑195.2	9
6	日本エコシステム	14,040	↑17.0	4
7	鈴与商事・新興マタイグループ	14,000	↑58.6	6(新興マタイ)、30(鈴与商事)
8	山善	12,000	↑33.3	5
9	テス・エンジニアリング	11,200	-	-
10	長府工産	10,000	↑854.2	43
10	ユアサ商事	10,000	-	-

上位10位合計
220,741

ウエストに次ぐ500億円企業が出現。産業用ウエイトの高い企業の躍進が目立つ。ベストテンの顔ぶれは同じで上位層は安定している。

2014年ランキング

順位	社名	PV関連売上高 (百万円)	対前年比伸び率(%)	前年順位
1	ウエストホールディングス	58,367	↑13.7	1
2	サニックス	56,637	↑197.9	5
3	エクソル	46,129	↑66.8	3
4	高島	31,633	↑37.5	4
5	テス・エンジニアリング	31,458	↑180.9	9
6	鈴与商事・新興マタイ	19,000	↑35.7	7
7	日本エコシステム	18,644	↑32.8	6
8	山善	17,000	↑41.7	8
8	芝浦グループホールディングス	17,000	↓40.4	2
10	長府工産	13,000	↑30.0	10

上位10位合計
308,868

全社合計
496,539

上位10位の
全体の割合
62.2%

の65%が住宅向けという住宅シフトが実った。2位はエクソルで、同12・2%の減収の149億59百万円であったが、他の有力どころも大きく産業用にシフトしたため、2位の座を確保した。3位はエネルギー企業の強みを発揮、住宅用で強い販売ルートを持つ鈴与商事・新興マタイグループで18・4%増加し、約90億円を売上げた。同じく3位タイに90億円対前年比、横バイで推移した長府工産、5位に17・6%の減収、81億円の日本エコシステムが入った。

総合1位のウエストホールディングスは産業分野に照準を合わせたこともあって、住宅分野では72%強減収の59億93百万円に止まり、前年の1位から6位に落ちた。7、10位の創造ホールディングス(宮城)、エー・ジー・ジャパン(千葉)、ジー・エー・ジャパン(千葉)、ジー・エー・ジャパン(千葉)、ジー・エー・ジャパン(千葉)がそれぞれ57億60百万円、56億71百万円、51億円、50億12百万円、と50億円台を確保してベスト10入りした。総合ランキング順位は決して上位ではないが、いずれも事業売上げの90%以上を住宅用で稼ぐ。住宅派の有力企業である。

一方、産業用は住宅以上に伸びが大きかっただけに、総合ランキングの上位企業がほぼそのままベストテンを形成する。1位は全事業を産業用が占めるサニックス、2位は90

前年2位の芝浦グループホールディングスは対前年比40・4%減収の170億円に止まり、ランキングも8位に落ちた。同社の場合、ほぼ産業用に販売ターゲットを絞っているが、2014年は大型案件が相次ぎ、納期のタイミングが合わず減収となったとみられ、次年度の回復力は期

待できそうである。10位の山口の長府工産も同30%増収の130億円を売上げたが、ランキング順位は前年と変わらなかった。

上位10社の総売上高は3088億68百万円に達し、前年に比べ39・9%の大幅増となり、FIT制度の本格化によっていかに市場が成長して

いるかを証明している。今年度リストアップした年商10億円以上のPV販売店は57社であるが、そのうち上位10社の売上高シェアは60%を占め、百花繚乱のPV流通業界にあって2年連続ベストテンの顔ぶれが大手販売店としての地位を形成しつつあるとみてよい。

今回リストアップできた57社のうち、前年より減収となったのは僅かに10社のみ、残り47社は増収組でPV販売が好調に推移したことを物語っている。住宅と産業の分野別にみても、まず住宅分野では、高島が205億61百万円で対前年比07%減、首位に立った。同社のPV事業

総合10億円超の企業 26位~57位

順位	社名	地域	決算期 (月)	売上高	PV関連売上高 (百万円)	PVの 占める割合
26	エーエルイー	愛知	3	4,717	4,717	100%
27	電器堂	静岡	9	13,653	4,711	35%
28	サンライズ	兵庫	3	4,890	4,500	92%
29	日本エネルギーホールディングス	岡山	12	4,000	4,000	100%
30	オルテナジー	東京	10	3,948	3,948	100%
31	横浜環境デザイン	神奈川	5	3,988	3,800	95%
32	日天	神奈川	3	3,806	3,666	96%
33	イオングリーン電力	愛知	1	5,206	3,644	70%
34	サンジュニア	長野	8	4,755	3,426	72%
35	yh	神奈川	4	3,420	3,420	100%
36	グリムス	東京	3	5,781	3,160	55%
37	アローズコーポレーション	大阪	6	3,270	3,003	92%
38	エイワット	大阪	7	2,792	2,729	98%
39	グリーンイノベーションホールディングス	東京	7	5,787	2,704	47%
40	スマートテック	茨城	9	2,656	2,656	100%
41	茂山組	岡山	6	3,655	2,650	73%
42	グッドフェローズ	東京	12	2,300	2,300	100%
43	日本エコエネシステム	東京	3	2,265	2,204	97%
44	日本ロハス	東京	4	2,200	2,200	100%
45	サンコー	愛知	6	15,560	2,198	14%
46	京滋ソーラー	京都	3	2,150	2,150	100%
47	タデック	愛知	4	2,725	2,129	78%
48	JM	東京	3	20,734	2,100	10%
48	メディアオテック	東京	3	4,700	2,100	45%
50	エネ創	栃木	6	2,017	2,000	99%
51	ユニバーサルエコロジー	愛知	3	2,168	1,914	88%
52	コスモエコロジー	東京	12	1,900	1,900	100%
53	荒川電工	高知	9	2,718	1,583	58%
54	ガリレオコーポレーション	福岡	11	2,450	1,500	61%
55	ディーエスエス	愛知	7	1,960	1,460	74%
56	ビックエコ	神奈川	3	1,300	1,300	100%
57	東洋ソーラー	島根	10	1,068	1,068	100%

住宅用ランキング

順位	社名	住宅 (百万円)	住宅用の 占める割合
1	高島	20,561	65%
2	エクソル	14,959	32%
3	鈴与商事・新興マタイ	9,000	47%
3	長府工産	9,000	69%
5	日本エコシステム	8,100	43%
6	ウエストホールディングス	5,993	10%
7	創造ホールディングス	5,760	90%
8	エー・ジー・ジャパン	5,671	90%
9	ジューテック	5,100	95%
10	すてきナイス	4,450	47%
11	エーエルイー	4,335	92%
12	イオングリーン電力	3,644	100%
13	グリムスソーラー	3,160	100%
14	アローズコーポレーション	3,003	100%
15	たけてん	2,880	60%
16	yh	2,778	81%
17	日本エネルギーホールディングス	2,500	63%
18	エスイーエム・ダイキン	2,485	21%
19	グリーンイノベーションホールディングス	2,170	80%
20	日本エコエネシステム	2,161	98%
21	双日建材	2,000	33%
22	スマートテック	1,929	73%
23	サンライズ	1,800	40%
24	コスモエコロジー	1,710	90%
25	横浜環境デザイン	1,700	45%
26	サンコー	1,648	75%
27	日本ロハス	1,500	68%
28	ガリレオコーポレーション	1,450	97%
29	オルテナジー	1,261	32%
30	ディーエスエス	1,250	86%
31	京滋ソーラー	1,200	56%
32	伯東	1,124	20%
33	日天	1,011	28%
34	明成商会	1,000	17%
34	メディオテック	1,000	48%
34	ビックエコ	1,000	77%

産業用ランキング

順位	社名	産業 (百万円)	産業用の 占める割合
1	サニックス	56,637	100%
2	ウエストホールディングス	52,374	90%
3	テス・エンジニアリング	31,458	100%
4	エクソル	31,170	68%
5	芝浦ホールディングス	16,981	100%
6	ネクストエナジー・アンド・リソース	12,156	100%
7	高島	11,072	35%
8	日本エコシステム	10,544	57%
9	鈴与商事・新興マタイ	10,000	53%
10	エスイーエム・ダイキン	6,710	73%
11	大和電機	6,349	90%
12	エコスタイル	6,000	95%
13	エネファースト	5,700	100%
14	藤崎電機	5,331	98%
15	すてきナイス	5,050	53%
16	明成商会	5,000	83%
17	FRESH UP	4,511	90%
18	伯東	4,497	80%
19	長府工産	4,000	31%
19	双日建材	4,000	67%
21	電器堂	3,875	82%
22	エイワット	2,704	97%
23	サンライズ	2,700	60%
24	オルテナジー	2,687	68%
25	日天	2,655	72%
26	茂山組	2,510	95%
27	サンジュニア	2,438	71%
28	横浜環境デザイン	2,100	55%
29	タデック	2,096	98%
30	グッドフェローズ	2,010	87%
31	たけてん	1,920	40%
32	JM	1,900	90%
33	ユニバーサルエコロジー	1,700	89%
34	日本エネルギーホールディングス	1,500	37%
35	荒川電工	1,478	93%
36	エネ創	1,280	64%
37	メディオテック	1,100	52%

2015年、PV販売見通しとF-I-T対応 ランキング入り有力販売店が斬る!!

前

頁までのランキングでは、各社売上高を一覧で紹介した。本誌ランキングにてランキングした10億超え有力企業について、次期見込みの追加取材を行った。

1月下旬から3月上旬に行ったアンケート・電話による本誌取材に対して、回答のあった48社の次期見込みを第3回全国PV販売売上高ランキング同様、総売上高、PV関連事業売上高、住宅向けPV売上高、産業向けPV売上高、それぞれの項目を分類し、掲載した。各社の予想する次期見込みを見る限り、大幅な増収とはいかないまでも、今期以上の売上高を見込んでいる企業が数多く見受けられた。

また、出力抑制や今年度買取価格に対する各社の「F-I-T対応」の取り組みも同時に訊いた。1月下旬から3月上旬という取材実施期間上、買取価格決定前のコメントが多くなっているが、今後の施策に関する方向性に関する賛否両論の意見が多く寄せられた。

PV事業を手掛ける有力企業各社の十人十色の取り組みが次期売上高にどのように繋がっていくのか。今後の事業展開に注目度が高まる。

また、出力抑制や今年度買取価格に対する各社の「F-I-T対応」の取り組みも同時に訊いた。1月下旬から3月上旬という取材実施期間上、買取価格決定前のコメントが多くなっているが、今後の施策に関する方向性に関する賛否両論の意見が多く寄せられた。

PV事業を手掛ける有力企業各社の十人十色の取り組みが次期売上高にどのように繋がっていくのか。今後の事業展開に注目度が高まる。

社名	売上高 (百万円)	PV関連売上高 (百万円)	PVの占める 割合(%)	住宅 (百万円)	住宅用の 割合(%)	産業 (百万円)	産業用の 割合(%)
サニックス	97,000	72,750	75	2,910	4	69,840	96
ウエストホールディングス	68,562	63,763	93	17,854	28	45,909	72
エクソル	50,000	50,000	100	14,000	28	36,000	72
テス・エンジニアリング	40,000	28,000	70	0	0	28,000	100
鈴与商事・新興マタイ	138,405	19,000	14	11,400	60	7,600	40
日本エネルギーホールディングス	10,000	10,000	100	1,000	10	9,000	90
エコスタイル	10,500	9,975	95	299	3	9,676	97
エスイーエム・ダイキン	13,450	9,672	72	2,248	23.2	7,424	76.8
長府工産	14,000	9,520	68	5,236	55	4,284	45
藤崎電機	9,200	8,280	90	124	1.5	8,156	98.5
大和電機	8,200	7,790	95	779	10	7,011	90
創造ホールディングス	7,000	6,860	98	6,174	90	686	10
FRESH UP	7,000	6,300	90	1,890	30	4,410	70
横浜環境デザイン	6,500	6,175	95	2,779	45	3,396	55
エー・ジー・ジャパン	6,600	6,072	92	5,768	95	304	5
日本ロハス	6,000	6,000	100	1,200	20	4,800	80
伯東	105,800	5,290	5	1,058	20	4,232	80
ジューテック	170,000	5,100	3	4,845	95	255	5
オルテナジー	5,100	5,100	100	4,590	90	510	10
荒川電工	6,500	5,100	78	153	3	4,947	97
スマートテック	5,000	5,000	100	3,650	73	1,350	27
双日建材	160,000	5,000	3	1,700	34	3,300	66
たけてん	60,000	4,800	8	2,880	60	1,920	40
イオングリーン電力	5,726	4,295	75	4,295	100	0	0
日天	4,296	4,210	98	1,263	30	2,947	70
サンライズ	4,500	4,140	92	1,656	40	2,484	60
yh	4,080	4,080	100	3,305	81	775	19
アローズコーポレーション	4,000	3,800	95	3,800	100	0	0
グリムスソーラー	6,592	3,448	52.3	3,379	98	69	2
グリーンイノベーションホールディングス	4,496	3,147	70	2,581	82	566	18
エーエルイー	3,000	3,000	100	300	10	2,700	90
グッドフェローズ	3,000	3,000	100	1,275	42.5	1,725	57.5
エイワット	3,100	2,945	95	147	5	2,798	95
茂山組	4,100	2,870	70	287	10	2,583	90
サンジュニア	4,000	2,800	70	840	30	1,960	70
コスモエコロジー	2,500	2,250	90	2,025	90	225	10
メディオテック	5,800	2,320	40	1,856	80	464	20
JM	23,000	2,300	10	230	10	2,070	90
エネ創	2,250	2,205	98	661	30	1,544	70
京滋ソーラー	3,400	3,400	100	1,700	50	1,700	50
日本エコエネシステム	2,300	2,070	90	2,049	99	21	1
ガリレオコーポレーション	2,500	1,875	75	1,875	100	0	0
ディーエスエス	2,400	1,800	75	1,440	80	360	20
菱中産業	2,100	1,499	71.4	0	0	1,499	100
ビックエコ	1,430	1,430	100	1,144	80	286	20
明成商会	7,000	1,400	20	560	40	840	60
東洋ソーラー	1,100	1,100	100	990	90	110	10
タデック	1,500	1,050	70	105	10	945	90

※回答のあった企業のみ掲載

業用が占めるサニックス、2位は90%を産業用で売上げたウエストホールディングス、3位も100%産業用のテス・エンジニアリングが入った。

リストアップした57社の本社および営業地盤を見てみると、関東地域が圧倒的に多く28社、中部9社、近畿7社、中国4社、九州6社、東北1社の分布であったが、ベストテン入りした10社は東京、大阪、京都、福岡の大都市圏業者が8社を占めた。

今年リストアップされた企業数は57社前年ランキングより14社減少している。前年実績および各種信用調査機関者のデータに基づき年商10億円以上をリストアップし、電話やアンケートによる追跡取材を通して記事作成するのが原則であるが、前年10位タイに入っていたユアサ商事をはじめ数社から取材拒否、掲載拒否の連絡があった。あるいはなかなかアンサーしてくれない企業もあった。

もちろん多くが非上場の売上高調査であるから、答える、答えぬは企業の自由裁量である。しかし、PV事業が補助金やF-I-T制度、つまるところの国民負担で成立している事業である。その国民に向かって、ただかたか売上高ぐらいをディスプレイするを躊躇する企業があったのは残念でならない。